

事業所名 運動療育型児童デイ ほぼらの樹 南住吉

支援プログラム (参考様式)

作成日 R 7 年 1 月 18 日

法人(事業所)理念	笑顔をはぐくみ 笑顔をつなぐ		
支援方針	日常生活行動や運動能力の向上・強化を目指して、基礎的な部分から個々のレベルに合った方法で運動療育を通して支援する。		
営業時間	12 9 時 00 30 分から	18 15 時 00 30 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	当グループの畑で収穫した野菜や果物等を使った食育活動を行う事で食べ物の食感、味を知り食事の楽しさや嚥下訓練を実施する。健康に関して全身の清潔や状態の観察を行い衣服の着脱練習や気温・時期に合った物を選べれるようになる。その他の日常生活行動の援助で個々の発達段階に合った支援を行い成長発達を促す。	
	運動・感覚	PT・OTによる計画的なりハビリ(全身の筋トレ、関節可動域訓練)の実施。マットや跳び箱、鉄棒を使用して基礎的な所から個々に合った運動、また体幹トレーニングを通して体幹強化に取り組んでいき個々の運動能力アップに繋げていく。五感を使い様々な体験を通して発達段階に合った支援を行い成長発達を促す。	
	認知・行動	制作活動で手先指先を使用したり、時間をかけて一つの物を作り上げる喜びや達成感を味わう。一年を通して季節に合った行事を体験する事により季節の流れや時間の流れを感じてもらう。繰り返し行う事で感覚を養い自発的行動を芽生えさせる。個々の発達段階に合った支援を行い成長発達を促す。	
	言語コミュニケーション	他者からの声に耳を傾け、視覚で認知する行為を自ら発信し行う事により、他者からの反応が得られる喜びを経験する。自己を表現する手段として非言語コミュニケーションでジェスチャーや表情で伝え相手に伝わる喜びを知り意思疎通出来るように支援する。自身の言葉で気持ちや要求を伝えられるようになり会話を楽しめるようになる。個々の発達段階に合った支援を行い成長発達を促す。	
	人間関係社会性	事業所スタッフと関わり人間関係を構築する。継続的に関わる事により、信頼関係を継続し安心感を得る。他の利用者との関わりを通し、同世代以外の年齢の利用者との関わりの中で、他者の存在を知る機会を得る。集団活動を通して協力して一つの事を成し遂げる感覚を得る。集団活動の中で他者と同じ体験を共有し一体感を得る。個々の発達段階に合った支援を行い成長発達を促す。	
家族支援	送迎毎に保護者様へ療育の様子や情報共有、半年に一度の面談で支援や療育のニーズの聴き取り、情報共有を密に行う事をしている。困りごとや相談にすぐ対応できるようスタッフを配置、連絡できる体制を作っている。	移行支援	当グループはトータルサポートが可能なため、児童スタッフや作業所スタッフと連携を図り、就職や作業所への移行を支援。定期的に体験会も開催しているので、作業や事業所の雰囲気を知ってもらう事ができる。
地域支援・地域連携	他の通所支援事業所や作業所との交流、情報交換や共有。学校との情報交換や共有を行う事で適切に統一した療育をする事ができる。	職員の質の向上	理念、安全、虐待、災害など定期的に内部研修を開催してスタッフのスキル向上を目指し、必要な知識を習得しています。また外部研修で強度行動障害、サビ管などの資格研修に積極的に参加している。
主な行事等	白ゆり祭、サッカー大会、スポーツ大会、防災訓練、作業所体験、他事業所のスペシャルレッスン・体験各事業所での活動、季節に合わせたイベントを行っている。		